

盆踊りの思い出

りかのひとりごと

2026年9月



今年は千葉県豪雨などもあり、盆踊りの気配もなく、夏が終わってしまいました。皆さんは盆踊りに、どんな思い出がありますか？

父はとても仲の良い7人兄弟の2番目でした。特に、お兄さんとは大の仲良しでした。2人とも歌が大好きで、田んぼの手伝いを頼まれると、そのまま山に登って、ずっと歌っていたそうです。東京に行くと、歌手になるコトが当時の2人の夢だったようです。2人の歌声は風にのって家まで届いていたと、笑い話になっています。やがて伯父は農家を継ぎ、父は東京に出て、夜学に通いながら就職先で詩吟に出会い、楽しんでいました。時々「♪かくに～」とか唄っていました。

伯父には、私と同年の女の子がいました。その従姉妹と一緒に遊ぶのが楽しくて、田舎に泊まれる春、夏、冬休みが待ち遠しかったものです。

伯父は歌手にはならなかったものの、**横笛の名手**となっていました。ある年の夏、叔母は旅行先で、♪ピーヒャラピーヒャラ～という横笛が聞こえてきた時、その音色だけで(兄貴の横笛だ)とわかったそうです。伯父は近隣の県から頼まれるほど、上手になっていたのです。

私が小学4年生だった夏のこと。ちょうど盆踊りの時期でした。見上げるほど立派な櫓の上で、伯父と一緒に、浴衣を着た父が横笛を吹いていました。無口で、いつも恐かった父でしたが、ものすごく輝いて見え、誇らしい気持ちになりました。また、そういう気持ちになれたことが嬉しかったのですが、その一曲だけで、姿が見えなくなってしまいました。もっと見ていたくて、長い梯子を登って、櫓の上まで探しに行きました。すると、「もう帰ったよという言葉が残酷に聞こえてきました。後で聞いたところ、同級生が「家で飲もう」と誘ってくれたようです。父は、あまりお酒が好きではなかったのですが、誘われて嬉しかったのでしょう。今ならそんな気持ちになれます。でもその時は、父が私の気持ちを踏みにじったという気持ちにしかねませんでした。たったそれだけのコトですが、忘れられない盆踊りの思い出です。

晩年、最後となった、田舎での兄弟2人の再会時、父は伯父から、横笛をもらいました。息が続かなくて大変そうでしたが、何度か練習してから、ビデオに撮ってくれと言われました。今なら携帯の動画で何度も再生し見せてあげられたのに、撮影しただけで、一度も画像を見せずにいたことが悔やまれます。

そして伯父が亡くなり、翌年の同じ日が父の命日となりました。きっと迎えに来てくれたであろう伯父と、嬉しそうにしている父が想像でき、安心して見送るコトが出来ました。

